

西川のぼら

5 歳よりヴァイオリンを始める。これまでに朔 望、徳永二男、漆原朝子、パヴェル・ヴェルニコフ、ニコラス・ケーケルトの各氏に師事。

12 歳で九州交響楽団とメンデルスゾーンのバイオリン協奏曲を初共演する。

桐朋女子高等学校音楽科を優秀な成績で卒業後、渡欧しその年にウィーン私立音楽芸術大学へ入学。在学中はヨーロッパ各地で開催された様々なミュージックアカデミーや音楽祭に参加。ソロはもちろん室内楽においても精力的に活動し、数々のディプロムを得る。大学を満場一致の最高評価で卒業後、プロバイオリニストとして本格的に演奏活動を開始する。

室内楽やソロリサイタルにもヨーロッパ各地で多く出演し、そのうちミュンヘンでの演奏がドイツバイエルン誌にて好評を得て注目を集める。2018 年秋に帰国し、現在は出身地である福岡を拠点に活動中。

